



Honoring

# エネルギースポーツ賞

## 恩田 賢二さん (ホッケー指導 / 島根県仁多郡奥出雲町)



### 【経歴】(2024年4月現在)

2005年 天理大学卒業  
 島根県立横田高等学校勤務(現在)  
 男子ホッケー部顧問  
 2010年 女子ホッケー部顧問

### 【受賞歴ほか】

2008年 岡田善富賞  
 島根県教育委員会 優れた教育活動表彰  
 2015年 文部科学大臣優秀教職員表彰

### 【指導歴】

(男子)  
 2006年 全国高等学校総合体育大会 優勝  
 2007年 全国高等学校総合体育大会 優勝  
 国民体育大会 優勝  
 2008年 全国高等学校選抜ホッケー大会 優勝  
 全国高等学校総合体育大会 優勝  
 国民体育大会 優勝  
 2009年 国民体育大会 優勝

(女子)  
 2017年 全国高等学校総合体育大会 第3位  
 国民体育大会 準優勝  
 2018年 全国高等学校総合体育大会 第3位  
 2022年 国民体育大会 第3位  
 2023年 全国高等学校総合体育大会 第3位  
 全国高等学校選抜ホッケー大会 第3位

恩田賢二氏は、2005年に島根県立横田高等学校に赴任以来、ホッケー部顧問(2010年より女子ホッケー部顧問)として、全国大会出場36回(男子14回、女子22回)という実績をあげるとともに、2015年には、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞している。

2008年、男子ホッケー部が、全国高等学校総合体育大会・国民体育大会・全国高等学校選抜ホッケー大会の高校3大会で全て優勝し、単独校としては14年ぶり3校目となる「3冠」の偉業を達成した。

2010年に同校の女子ホッケー部の顧問となってから以降も、全国規模の大会で準優勝の成績を取っている。

指導面では、一人ひとりが考えてホッケーをすることを日々の練習で心掛け、冬場は降雪の多い地域であることから、ボールをほとんど使用せず、走り込み中心の練習を行い、走れるチーム作りを目指すなど工夫している。そして、選手の個性を見極め、長所を伸ばし、短所を長所にできるよう助言している。また、選手が練習や学校生活の中でもしっかりとした考えをもって行動するとともにホッケーを通じて、さまざまな年代と交流することで、人間性を高め、価値観を広げられるよう指導している。

U-18日本代表のコーチにも3度選任されるなど、その指導力は県内だけでなく全国レベルで高い評価を受けており、これまでに指導をした選手も計30名が日本代表に選出されている。

以上のとおり、恩田賢二氏が島根県内唯一の横田高等学校ホッケー部を男女ともに全国の強豪校へと育て上げた功績は大きく、その指導・姿勢は、指導者の模範であり、高く評価できる。

### 受賞の言葉

この度は、エネルギースポーツ賞という大変素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。ここまでやってこられたのも、これまでご指導いただいた先輩方や、共に戦ってくれた生徒たち、そして関わっていただいたすべての方々のおかげだと感謝しております。

ホッケーは、日本ではまだまだ競技人口の少ない競技ですが、オリンピックの開催種目でもあり、国によっては大変人気のあるスポーツです。魅力はスピード感あふれる試合展開で、トッププレイヤーが放つシュートボールのスピードは、男子で200kmを超えることもあります。そのようなスピーディーな試合展開の中で、各選手が周囲の状況などを瞬時に判断しプレーしなければならないため、常に動ける体と広い視野を持っていなければいけません。そうしたことを選手とともに考え練習し、できることが増えていくことがとても楽しみであり、やりがいだと感じています。

私自身、ホッケーを通してたくさんのことを学び、少しずつでも成長することができたと思っています。これからの若者が、競技者としても人としても成長していけるようこれからも普及・育成に日々精進してまいります。ありがとうございます。



第55回全国高等学校選抜ホッケー大会3位 ハーフタイム中 2023年



ホッケー交流会 2023年



愛媛国体準優勝 2017年